LIFE in SHINSHU 04

余暇を愉しみ、暮らしを慈しむ

Builder：トモノ建築設計事務所　Place：佐久市　Family：夫婦

Iさん夫妻にとって初めてとなる家づくり。遠距離かつ働きながらという多忙な日々のなか、妥協することなく夢や希望を叶えました。信州が大好きで、これまで何度も旅行で訪れたそうですが、暮らしてみると旅では気づかなかった新たな魅力が見えてきたそうです。



A

B | C

D

A_本を読みながらハンモックで昼寝をすることも。マンションでは考えられなかった至福のひととき。　B_新居へ越して初めての出勤日。ご主人は玄関から一歩出たところで空気の清らかさに気がついたそう。　C_図書コーナーには天井まで届く壁面本棚を設置。居心地のいいヌックも「大正解でした」と奥様。　D_ダイニングテーブルはトモノ建築設計事務所のオリジナル。2脚のY-チェアはご夫妻の普段使いに。ダイニングテーブル脇の壁に沿ってコの字型の造作ベンチを設け、大人数でもテーブルを囲むことができるようにした。





都会暮らしでは得られない自然がくれた解放感

埼玉と長野で二拠点生活を送るIさん夫妻。都内の企業に勤める多忙な日々ですが、今では「家が趣味」というほど信州ライフを謳歌しています。

お二人の出勤は火曜日から木曜日の週3日。月曜日と金曜日はリモートワークのため、土日を含めた4日間を長野で過ごしています。

共に出身が埼玉というご夫妻は、以前から旅行がてら信州へ頻繁に足を運んでいました。当時は通勤に便利な駅近で、買い物や娯楽など生活インフラの整ったマンション暮らし。何ら不自由はなかったものの、どこか充足感に欠ける日々でもあったと振り返ります。

そんなある日のこと、信州を訪れたお二人。目にしたのは浅間山の雄姿でした。見渡す限り続く青空の下、周囲には美しい山並みや緑の木々が広がっています。「そこで気づいたんです。ああ、私たちに足りなかったのはこれだったんだ、と」。清らかな空気が体の隅々まで染み入る心地よさ。自然の景観がもたらす心の豊かさを、肌で感じた瞬間でした。

そしてコロナ禍以降、新しい働き方として定着した出社と在宅のハイブリッドワーク。

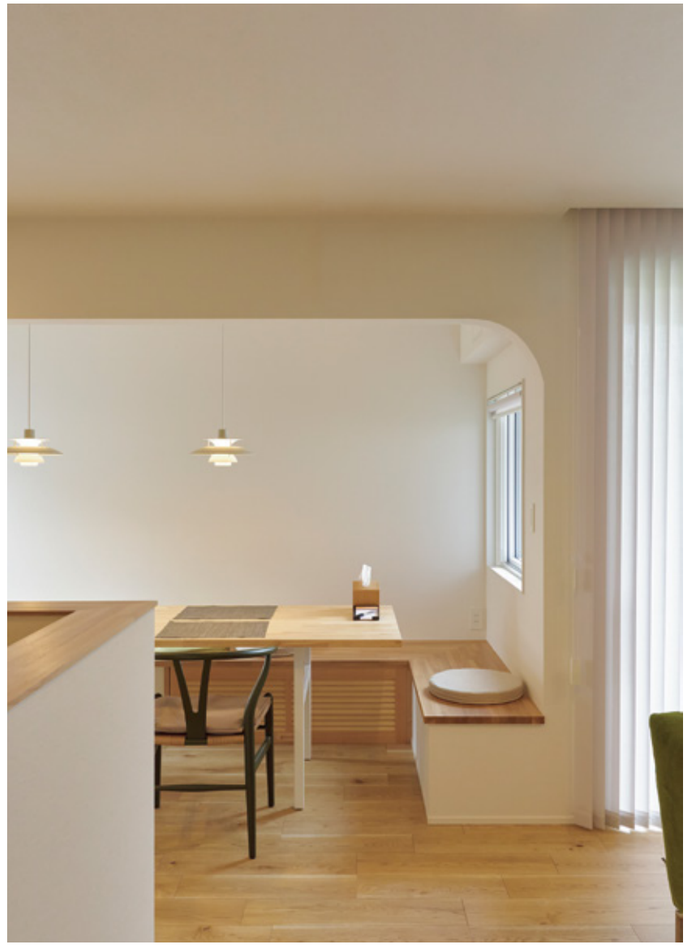


新幹線も通り、このエリアであれば首都圏へのアクセスもスムーズです。ご夫妻は長い間憧れていた移住への気持ちを固めました。

お二人にとっては人生初となる家づくりです。せっかくなら自分たちの「やりたいこと」「好きなこと」を叶えよう。まさに満を持しての本格始動となりました。

一歩ずつ丁寧に
納得の積み重ねが成功の秘訣に

長年夢を見続けてきた田舎暮らしですが、お二人は急いでいたわけではありません。土地の購入やビルダー探しなと、すべてにおいて拙速を避け、吟味を重ねながら進められたことが、成功の秘訣だったと言います。「どこに住むかを考えたとき、土地の気候や風土はもちろん、周辺の住環境や地域事情も重要ですから」とご夫妻。四季を通じて候補地を訪れ、近所や町の雰囲気まで確認し、納得した上で現在の地を選びました。





G | H
E
F | I | J

E_柔らかな曲線を描く垂れ壁。その向こうに下がる2連の照明は、PH 5。木の温もりも目にやさしい、カフェのような雰囲気のダイニング。　F_デッキに面しているため日当たりは良好。マンションではダンボール箱に入れっ放しだった本も、大容量の本棚にようやく収まりひと安心。　G_「我が家は居場所が多くて」と話すご主人。リビングのソファもお気に入りスポットの1つ。　H_食器類は造作棚を使ってスッキリ収納。信州暮らしが始まってから、ご主人は料理のレパートリーが増えたそう。　I_夫婦それぞれに独立した書斎を用意。健康を考えてどちらも昇降式の机とし、立ったままで仕事をすることもあるそう。　J_家事動線については、ヒントとなる動画を1000本近く見て研究したのだとか。もちろん、使いやすさは文句なし。





ところが、思いのほか難航したのがビルダー探しです。事前にリストアップしていた会社は10社ほど。しかし話を進めると、いずれも互いの条件が噛み合わず、途方に暮れたと話します。契約を急かされたり、希望の間取りを伝えても全く違う図面が出てきたり。「私が絶対に譲れなかったサウナに至っては、ダメ出しされたこともありました」とご主人も苦笑します。そんな時に出会ったのが、トモノ建築設計事務所でした。

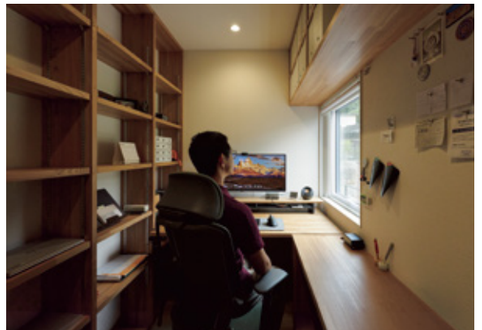
同社は、施主が思い描く人生そのものを家づくりのベースとしています。「私たちの希望だけでなく、まずは『どんな暮らしがしたいのか』にしっかりと向き合ってくださり、感激しました」と奥様。多くのビルダーを比較検討してきたご夫妻だからこそ、そうしたアプローチがいかに大切かを「痛感しました」と話します。

また建築中も協議を重ね、細やかなフォローはもちろん、施主にとってのベストな住まいを共につくり上げていくその一体感が、本当に頼もしかったとも。「普段は仕事で忙しい私たちですが、家づくりはゆとりをもって進めたいというわがままにも辛抱強くお付き合いくださり、感謝の気持ちでいっぱいです」

一歩ずつ丁寧に。その小さな積み重ねが、お二人の信州暮らしを支える確かな礎となりました。

自然の営みを身近に感じて
「晴耕雨読」の穏やかな暮らし

ご夫妻のこだわりが随所にみられるI邸。例えばハンモックを備えた図書コーナーには、自慢の蔵書がずらり。土いじりも大好きだというお二人は、天気が良ければ庭へ出て農作業やDIYを楽しみます。雨が降れば、家の中で読書をしたり、うたた寝をしたり。夜になるとサウナで汗を流し、外気浴デッキで













クールダウン。そんな緩やかな時間が「信州暮らしの醍醐味」と口を揃えます。憧れだった「晴耕雨読」の穏やかな休日は、仕事で多忙なお二人に安らぎと癒しをもたらしてくれました。

また思いがけない変化は食生活にも及んでいます。テーブルに並ぶのは、信州の大地で育まれた旬の恵みの数々。新鮮な採れたて野菜やフルーツの滋味溢れるおいしさに、心も体も満たされる日々です。「毎晩、次の日の食事が楽しみすぎて、わくわくしながら眠りにつきます」とご主人も幸せそう。

Iさん夫妻は改めて感じています。太陽や雨風、緑の木々や土など自然が身近にあるこのロケーションは、何ものにも代えがたい財産であることを。ふと目をやると、虫やカエルなど小さな生き物たちの力強い息吹が足元に広がっています。そんな光景さえ愛おしいと思えるのは、ここでの暮らしが心にゆとりをもたらしてくれた証しなのだと。

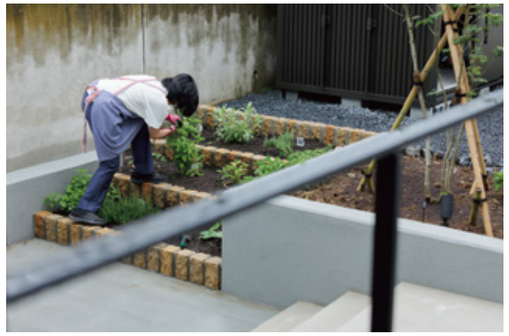
「しばらくは埼玉との二拠点生活が続きますが、ゆくゆくは完全移住したいと思っています」とお二人。日が昇って沈む、そうした自然の営みに歩調を合わせてのんびりと。ご夫妻が思い描いた理想の暮らしが、ここから始まっています。

K_傾斜地に立つI邸。帰宅時に坂を上がってくる際、「我ながらいい家だなあ、といつも思うんです」とご主人。　L_帰ってすぐに手を洗えるよう、洗面台は玄関を入った正面に配置。　M_サウナに入った後は、隣接する外気浴デッキでひと休み。専用のサウナポンチョも大活躍。　N_コンパクトながら本格的な、ご夫妻自慢のロウリュサウナ。自宅にいる時はほぼ毎日入るほどのサウナ好き。　O_スクエアフットガーデンで野菜づくりに励むご主人。区分けされているため、種類や季節ごとに管理がしやすいのだそう。　P_法面を活用した段々畑は奥様が管理するハーブエリア。料理に使えそうなものをホームセンターでセレクト。　Q_近所には移住者が多く、おおらかな雰囲気も気に入って土地を決めたというご夫妻。庭にいると、じゃがいものお裾分けなどで声がかかることも。

K
L
M
N

O | P
Q







OWNER　Iさん

POINT 1　信州に暮らしてよかったこと

どこへ行っても自然に触れられること。食べ物や空気もおいしいですね。心も体も健康的になり、人生が豊かになりました。

POINT 2　家づくりでよかったこと

信頼できるビルダーに出会えたことが一番です。おかげでサウナなど、諦めかけた夢がすべて叶いましたから。

POINT 3　先輩としてのアドバイス

事前の情報収集も必要ですが、実際に足を運んで地域をよく見ることが大切だと思います。夏の暑さや冬の寒さ、厳しい季節を体験しておくのも必須です。

トモノ建築設計事務所　https://tomono-inc.jp　0267-88-7350
佐久平スタジオ／佐久市岩村田1290-7-1F
東京スタジオ／東京都台東区浅草橋3-5-8-2F
佐久穂スタジオ／南佐久郡佐久穂町大字海瀬355
軽井沢スタジオ／北佐久郡軽井沢町発地1399-60